

中世末～近世における銀貨の出土状況

嶋谷和彦（堺市立埋蔵文化財センター）

- 1、はじめに
- 2、銀貨出土遺跡の性格とその出土量
- 3、銀貨の大量一括出土とその意味
- 4、銀貨出土遺跡の地域別検討
- 5、出土銀貨の年代別検討
- 6、おわりに

（主要参考文献）

- 大槻 伸 1997年 「福知山市天座出土の丁銀について」 『近世の出土銭Ⅰ』 兵庫埋蔵銭調査会
尾上 実 1997年 「大阪日本橋出土の小判と高石出土の丁銀」 『近世の出土銭Ⅰ』 兵庫埋蔵銭調査会
柏本秋生 1997年 「萩市青木周弼旧宅発見の一分銀について」 『近世の出土銭Ⅰ』 兵庫埋蔵銭調査会
黒田慶一 1998年 「大坂出土の金銀貨」 『出土銭貨』No10 出土銭貨研究会
櫻木晋一 1997年 「原城跡と長崎市出土の貨幣」 『近世の出土銭Ⅰ』 兵庫埋蔵銭調査会
櫻木晋一 2000年 「近世出土貨幣研究の現状」 『貨幣史研究会（西日本部会）報告資料』 日本銀行金融研究所
沢柳秀実・山口康行 1997年 「埼玉県大宮市旧坂東家住宅出土の一分銀」 『近世の出土銭Ⅰ』 兵庫埋蔵銭調査会
神野安伸・小松俊雄 1998年 「宇都宮城下出土の金・銀貨について」 『出土銭貨』No10 出土銭貨研究会
谷口哲一 2000年 「萩城跡（外堀地区）出土の豆板銀」 『陶埴』No13 山口県埋蔵文化財センター
永井久美男 1998年 「近世金銀貨の出土 — 近世の一括金銀貨の出土資料の集成を中心として —」 『出土銭貨』No10 出土銭貨研究会
永井久美男 1998年 「近世の金銀貨の出土」 『近世の出土銭Ⅱ』 兵庫埋蔵銭調査会
永井久美男・橋本 久 1998年 「兵庫県宝塚市安倉出土の金銀貨」 『近世の出土銭Ⅱ』 兵庫埋蔵銭調査会
橋本 久 2000年 「安倉出土の金銀貨」 『出土銭貨』No14 出土銭貨研究会
藤島一巳 1995年 「開陽丸遺跡出土の銭貨」 『出土銭貨』No4 出土銭貨研究会
堀内秀樹 1998年 「江戸遺跡出土の金銀貨」 『出土銭貨』No10 出土銭貨研究会
森島康雄 1997年 「京都府出土の近世貨幣」 『近世の出土銭Ⅰ』 兵庫埋蔵銭調査会
森島康雄 1998年 「京都市千本出水出土の金銀貨」 『近世の出土銭Ⅱ』 兵庫埋蔵銭調査会
山川 均 1998年 「山岳遺跡の出土銭 — 大峰山寺本堂・笹ノ窟出土銭を中心に —」 『近世の出土銭Ⅱ』 兵庫埋蔵銭調査会

表1 中世末～近世の銀貨出土遺跡と共伴金貨

出土地	所在地	丁銀	豆板銀	一分銀	二朱銀	一朱銀	大判	小判	分金	朱金
閉陽丸	北海道江差町			25		3			7	12
山岸家土蔵	岩手県岩泉町			3890						
大林境前	宮城県若柳町			332						
上新田	群馬県玉村町			2405		780			24	7
米野中田	群馬県富士見村				2			1	3	
茂木	群馬県大胡町				5					
宇都宮城内	宇都宮市			190		93			254	
坂東家住宅	大宮市			400						
満蔵寺下堂	埼玉県越生町			6				20	39	44
京橋	東京都中央区			8					231	304
菊屋橋	東京都台東区			1086						
上野公園	東京都台東区	4								
碑文谷	東京都目黒区			1178		1449			1897	85
汐留遺跡	東京都港区				1				6	1
飯倉分館内遺跡	東京都港区				1					
駒込鰻細手	東京都文京区				1					
市ヶ谷本村町遺跡	東京都新宿区				1				1	
四ツ谷一丁目遺跡	東京都新宿区		1							
八幡遺跡	新潟県吉川町					1				
駿府城跡	静岡市			1						
松代城跡	長野市			1						
松本城二の丸朝殿跡	松本市				1				6	
大井城跡	佐久市				1					
御影新田	小諸市				15			15	10	
港町	敦賀市			42	1	158		6	595	82
天座	福知山市	32								
千本出水	京都市上京区	9	35					7	24	
平安京左京四條四坊二	京都市中京区	1								
安祥寺下寺	京都市山科区					1				
長岡京跡	長岡京市				1					
興戸宮ノ前	京田辺市			10						10
大坂城跡	大阪市中央区	2	1			1				
取石	高石市	43								
玉手山遺跡	柏原市				1					
笹ノ窟	奈良県上北山村					1				
安倉	宝塚市	21	8				3			
殿屋敷遺跡	島根県匹見町		1							
萩城跡	萩市		5							
青木周弼宅	萩市			1175						
江浦	香川県広島村			3		5			4	
石手川公園	松山市	5	6							
両替町遺跡	久留米市		1							
柿樋瀬遺跡	佐賀県牛津町		1							
上野町	大分市	6	100							
栄町遺跡	長崎市		1							
原城跡	群馬県南有馬町		18							
前畑遺跡	鹿屋市		1							

仙台藩伊達家
と菅野藩城家

白折藩福屋家

組屋敷

江戸遺跡の
範疇尾張藩の上屋敷
(西御殿)

表2 出土銀貨の年代別内訳表（東日本）

	開 關 丸	宇 都 宮 城 内	坂 東 家 住 宅	満 藏 寺 下 堂	菊 屋 橋	上 野 公 園	碑 文 谷	汐 留 遺 跡	飯 倉 分 館	駒 込 繩 手	市 ヶ 谷 本 村	八 幡 遺 跡	松 代 城 跡	大 井 城 跡
古 豆板銀 (16c ^詳 ~17c ^簡) 慶 長丁 銀 (1601~1695) 慶 長豆板銀 (1601~1695) 元 禄豆板銀 (1695~1706) 宝 永豆板銀 (1706~1712) 正 徳丁 銀 (1714~1715) 享 保丁 銀 (1718~1736) 享 保豆板銀 (1718~1736) 元 文丁 銀 (1736~1818) 元 文豆板銀 (1736~1818) 古南錠二朱銀 (1772~1824)								1		1	1			1
文 政豆板銀 (1820~1837) 新南錠二朱銀 (1824~1830) 文 政一朱銀 (1829~1837) 天 保一分銀 (1837~1854) 嘉 永一朱銀 (1853~1865) 安 政丁 銀 (1859~1865) 安 政一分銀 (1859~1868) 明 治一朱銀 (1868~1869)	2 25 1	4 93 86	3 397	6	1086	4		1					1	

表3 出土銀貨の年代別内訳表（近畿）

	天 座	千 本 出 水	平 安 京 跡	長 岡 京 跡	興 戸 宮 ノ 前	大 坂 城 跡	取 石	玉 手 山 遺 跡	笹 ノ 箱	安 倉
古 豆板銀 (16c ^詳 ~17c ^簡) 慶 長丁 銀 (1601~1695) 慶 長豆板銀 (1601~1695) 元 禄豆板銀 (1695~1706) 宝 永豆板銀 (1706~1712) 正 徳丁 銀 (1714~1715) 享 保丁 銀 (1718~1736) 享 保豆板銀 (1718~1736) 元 文丁 銀 (1736~1818) 元 文豆板銀 (1736~1818) 古南錠二朱銀 (1772~1824)		9 35				② ↓ 伊能を 含む	43			8 21
文 政豆板銀 (1820~1837) 新南錠二朱銀 (1824~1830) 新南錠一朱銀 (1829~1837) 天 保一分銀 (1837~1854) 嘉 永一朱銀 (1853~1865) 安 政丁 銀 (1859~1865) 安 政一分銀 (1859~1868) 明 治一朱銀 (1868~1869)			1		10	1		1	1	

表4 出土銀貨の年代別内訳表（西日本）

	殿 屋 敷 遺 跡	萩 城 跡	江 浦	石 手 川 公 園	両 替 町 遺 跡	柿 樋 瀬 遺 跡	上 野 町	原 城 跡	前 畑 遺 跡
古 豆板銀 (16c ^詳 ~17c ^簡) 慶 長丁 銀 (1601~1695) 慶 長豆板銀 (1601~1695) 元 禄豆板銀 (1695~1706) 宝 永豆板銀 (1706~1712) 正 徳丁 銀 (1714~1715) 享 保丁 銀 (1718~1736) 享 保豆板銀 (1718~1736) 元 文丁 銀 (1736~1818) 元 文豆板銀 (1736~1818) 古南錠二朱銀 (1772~1824)	1	3 1 1				1	6 100	18	1
文 政豆板銀 (1820~1837) 新南錠二朱銀 (1824~1830) 新南錠一朱銀 (1829~1837) 天 保一分銀 (1837~1854) 嘉 永一朱銀 (1853~1865) 安 政丁 銀 (1859~1865) 安 政一分銀 (1859~1868) 明 治一朱銀 (1868~1869)			3 5		1				

第2表 近世の一括金銀貨出土の集積(1)

No.	発見日	発見地(所在地)	出土状況(状況)	出土金銀の内訳
1	1976(S51)9.27	秋田県横手市豊成字城付	愛宕山北東側の針葉で小学生が偶然発見する。一分金は徳川時代の紙に入っていた。	慶長一分金104
2	1963(S38)10.	岩手県下閉伊郡岩泉町門(山岸家)	土蔵を解体中、床下から甕に入って発見する。	一分銀3,890
3	1960(S35)春	宮城県栗原郡若柳町字太林境前46	母屋改築の築地中(甕は蓋)。	一分銀?332
4	1966(S41)4.28	栃木県宇都宮市中央本町(栃木県済生会宇都宮病院跡)	栃木県済生会病院の工事中に出土。元宇都宮城内の太鼓門北側になる。	天保一分銀4、安政一分銀186、嘉永一朱銀93、万延二分金254
5	1961(S36)3.20	群馬県館林市上三林2307	自宅裏の竹やぶを開墾中、井戸底から直径22.4cmの甕に入って発見する。	元文小判184
6	1978(S53)3.10	群馬県佐渡郡玉村町上新田	住宅建設に伴う築地工事中、地下約70cmのところから高さ約25cmの茶碗きの甕を発見。	二分金24、二朱金7、一朱銀780、一分銀2,405
7	1951(S26).	埼玉県北葛飾郡庄和町西宝珠花	江戸川右岸の改修工事中に千両箱を掘り出し、作業員5名で均等分配する。昭和28年、発見者が隠匿罪で取り調べを受け、天保小判9枚、切断小判1枚、細切れ小判1枚を回収。	天保小判1,000枚
8	1960(S35)5.6	埼玉県大宮市藤子709	生垣植え替え中に発見する。出土地は、もと蔵があったところ。	元文小判107、元文一分金66
9	1970(S45)?	埼玉県川越市古谷本郷(灌頂院)	灌頂院の障子の改修工事中、障子の床敷の下から和紙に包んで発見する。	文政小判2、文政一朱銀1、一分金、二分金、二朱金、一分銀、一朱銀、明治初期の金貨等488枚
10	1973(S48)1.	埼玉県入間郡越生町字上野(三瀧山満蔵寺の下堂)	満蔵寺下堂の屋根を葺き替え作業中、屋根裏の一隅から銅鑊に包まれて発見する。	文政小判20、文政一分金39、天保二朱金44、天保一分銀6、合計109枚
11	1979(S54)2.7	埼玉県深谷市中瀬字延命地307-3	宅地造成の築地作業中、深さ約30cmのところから甕に入って出土した。	元文小判489
12	1993(H5)4.16	埼玉県大宮市大字片柳1266	旧坂東家住宅解体修理後の柱礎等の痕跡調査の際、土壌の中に398枚、その下に2枚があった。	天保一分銀3、安政一分銀397、合計400枚
13	1928(S3)9.5	東京都京橋区南横町八(現中央区京橋1丁目)	区画整理中、地下より甕を掘り出す。	一分銀8、一朱金112、二朱金192、二分金231

14	1956(S31)5.18	東京都中央区銀座6丁目	小松ストアの工事現場より出土する。	慶長小判38、正徳小判53、享保小判107、慶長一分金11、宝永一分金7、正徳一分金23、享保一分金19枚
15	1957(S32)1.30	東京都大島町岡田崎崎沖合(カッサキ浜約250m沖合)	アワビ採り中、水深15mのところで見える。	慶長小判20、慶長一分金62、元禄小判83、元禄一分金1
16	1957(S32)6.11	東京都台東区浅草菊屋橋2-5	第一信託銀行菊屋橋支店建設の基礎工事中に見え取納容器は高さ15cmの甕。	天保一分銀1,086
17	1957(S32)8.6	東京都中央区銀座西4-3	富士銀行数寄屋橋支店の改築工事現場、取納容器は蓋。	元文小判67
18	1960(S35)3.20	東京都千代田区神田富山町	岡崎ビル建築工事	元文一分金41
19	1963(S38)4.27	東京都港区芝西応寺町50	万ト自動車建築現場、取納容器は蓋。	二分金320
20	1963(S38)8.24	東京都中央区新川町2-2	日清軽油増築工事現場、レンガの枠組みの中に高さ25cmの透明なガラス瓶3本に入って発見する。	天保二朱金22,464
21	1963(S38)9.3	同上	日清軽油増築工事現場、前回の発見地の下40cmの耐震箱にガラス瓶5本に二朱金、小判は耐震の当て小判に挟んで百枚づつ重ねたもの19個を発見。	天保二朱金55,925、天保小判1,900
22	1964(S39)1.28	東京都目黒区碑文谷2の24	型敷内の水道管理設作業中に発見する。取納容器は高さ23cmの甕、和紙で包まれていた。	万延二分金1,897、天保3万延二朱金85、安政一分銀1,178、嘉永一朱銀1,449
23	1964(S39)3.13	東京都江東区深川有明町2丁目	埋立地の海岸で拾う。	慶長小判15(一週間に13枚、翌月に7枚を発見、合計35枚)
24	1966(S41)7.25	東京都千代田区富士見町2の4	喫茶店の地下室改築工事中、高さ20cmの甕に入って発見する。	天保五兩6、天保小判101
25	1971(S46)12.23	東京都文京区本郷6丁目22	駐車場跡の築地作業現場で発見する。	文政小判27、一分金9(小判は100枚ほどあったが散逸、上記のみ届け出された)
26	1974(S49)6.13	東京都台東区元浅草2丁目	蕎麦屋のビル建築工事現場、高さ約40cmの壁の中にコルクで蓋をした角型と丸型のガラス瓶3本に入れてあった。	角瓶=万延二分金約600、丸瓶2本=天保二朱金約1,600、合計約2,200枚
27	1975(S50)1.18	東京都文京区千石4丁目	民家の塙の工事中、深さ約50cmのところから瀬戸物の甕に入れられていた。	天保一分金4、安政二分金31、天保二朱金67、合計154枚
28	1971(S46)4.1	山梨県東山梨郡勝沼町土岩崎	葡萄畑から出土する。	蛭澤金2、碇石金16

29	1935(S10)5.7	長野県諏訪郡下諏訪町久保	諏訪大社下社の杖宮の境内で葡萄畑を削っているとき発見する。	蛭澤金11、碇石金31、金製刀金具3
30	1974(S49)5.2	長野県小諸市御影新田	住宅建設に伴う築地中、地表下約30cmのところから茶碗の中に入って出土。	文政小判15、一分金10、南牌二朱銀15、穴あき銭1
31	1967(S42)5.13	長野県伊那市美濃堂原1336-1(菅原公民館の庭)	運動場の拡張工事中の発見。容器は白磁の甕である。	元文小判25
32	1957(S32)12.8	新潟県中魚沼郡川西町室崎	耕地整理中、地表下1mのところに直径15cmくらいの丸石で蓋をした茶碗に入っていた。	元文小判17、一分金2
33	1963(S38)9.13	福井県敦賀市港町	上水道管埋設工事中、深さ1mのところから甕(高さ20cm直径15cm)に入って出土。甕の中に「明治六年市右衛門」の墨書があった。	小判6、二分金595、二朱金82、一朱銀1、一分銀42、一朱銀158、二十四金貨1、十四金貨28、五兩金貨5、外国金貨1、外国銀貨1、合計920枚
34	1986(S61)3.1	滋賀県近江八幡市加茂町609番地(萬光寺)	庫裏跡の礎石の端から白磁の甕に入って発見する。	元文小判460、元文一分金157★
35	1903(M36)1.7	山城国紀伊郡東九條村(現京都府南区東九条)	道路開鑿(かいさく)工中に発見。	草文新(真カ)文兩小判745,957枚(元文・文政小判)
36	1961(S39)12.8	京都府福知山市字天座	ケーブル工事に伴う掘削中、地下約1mのところから陶津焼の甕を発見する。	正徳丁銀2、享保丁銀30、合計32★
37	1965(S40)1.31	京都府京都市上京区千本通下水4(西側安全地帯橋)	下水工事現場。マンホールを作るため地下約2mまで掘ったところ、高さ約10cmの茶碗きの甕が出てきた。	慶長小判7、慶長一分金24、慶長丁銀9、慶長辰銀25★
38	1963(S38)9.6	大阪府東北区高石町高木318-7(現高石市取石7丁目)	桶木出で桶木を移植中、茶碗きの甕を掘り出した。	丁銀43(現存する29本は全て元文丁銀であった)★
39	1974(S49)2.14	大阪府大阪市南区日本橋1丁目	北陸銀行大阪支店の新築工事中に見る。	文政小判96、一分金184、二分金59
40	1967(S42)10.15	奈良県北葛城郡王子町門前	土蔵改築の床下から、古丹波甕に入って出土した。	享保大判1、天保五兩1、元文正徳・享保・天保小判等50枚、他に角金、粒銀、貨銀など多数
41	1911(M44)3.8	兵庫県川辺郡小浜村安倉字柿畑(現兵庫県宝塚市安倉北3丁目)	畑地を開墾中に発見する。容器は茶碗きの甕。	天正寛文大判1、天正大判2、慶長丁銀4、慶長切銀17、棒付銀8★
42	1974(S49)9.20	山口県阿武郡阿東町大字生業兼分字千頭	排水溝の掘削中に発見。農具小判の軒下で地下約30cmのところ、砕けた瓦器片と二つに割れた磁器茶碗が出土。	銀148(完全形銀98g、径8.5cm、幅3.8cm)、銀74の切銀19(57個の総重量1,300g)
43	1990(H12)9.22	山口県萩市大字南古萩3	青木周彌宅の土蔵修理中、土蔵の床下から木箱・金匱箱各1個の中に各15包みが入っていた。	木箱15包=一分銀600、金匱箱15包=一分銀575、合計1,175枚

第3表 近世の一括金銀貨出土の集成(2)

No.	出土地	出土金銀の内訳
44	群馬県勢多郡富士見村大字米野字中田190番地	文政小判金1, 真文二分金3, 南鐘二朱銀2
45	群馬県勢多郡大胡町大字茂木	南鐘二朱銀5
46	群馬県多野郡新町2630	元文小判金3, 元文一分金5
47	群馬県利根郡沼田町大字沼田1177	元文小判金10
48	江戸城本丸跡	延金4, 延銀4, 金塊1
49	東京都上野公園不忍池	板金1, 爛金錠1
50	東京都上野公園	安政丁銀4
51	山梨県東山梨郡春日居町下岩下540	上字大判金1, 無名大判金1, 角判金1
52	山梨県北巨摩郡熱見村西割979	判金4, 壺1
53	新潟県北蒲原郡二枚橋村農高橋仁兵衛宅地	一分銀5
54	岐阜県揖斐郡小島村上東野	牛舌判金5
55	静岡県賀茂郡下田町字殿小路953	元禄小判金2, 元禄一分金3, 元禄二朱金1
56	静岡県榛原郡川崎町勝俣1810	新二分金3
57	三重県松坂市垣鼻字里中1355	無名大判金1, 眼子菜金9
58	三重県度会郡吉津村大字河内仙宮神社社有地	延銀2
59	滋賀県甲賀郡不動町字権町469	文政小判金3, 壺1
60	京都市上京区加茂川	元文小判金1
61	京都市右京区御陵大枝山(葛野郡松尾村小字成陵大枝山)1-3山林山	元禄小判金2
62	京都府綴喜郡田辺町大字与戸小字宮前54	天保一分銀10, 天保二朱金10, 鉢残欠1, 蓋残欠1
63	鳥取県気高郡馬場村馬場神社境内	銀塊15
64	香川県仲多度郡七箇村三田4091(山林)	延金1
65	香川県仲多度郡広島村大字江浦220	天保一分銀3, 嘉永一朱銀5, 安政二分金2, 新二分金2
66	愛媛県松山市石手川公園内	元文丁銀5, 元文豆板銀6, 壺1
67	福岡県大牟田市平原町	享保小判金16
68	福岡県朝倉郡夜須村大字中牟田791	無名大判5
69	大分市上野町673	享保丁銀6, 享保豆板銀100

No.44～No.69の出典は、「東京国立博物館収蔵品目録(金工・刀剣・陶磁器・染織・漆工)」(昭和53)による。この内10枚以上の出土例は47・57・62・63・65・67・69の7例である。

【備考】

- (1) 発見月日が不明な場合は空欄とした。
- (2) 出土地番については、出典文献による。
- (3) 出土金銀の内訳は原則として出典文献によるが、筆者が遺物を実見して過去の報道に誤りを認めた場合は訂正した(★印)。

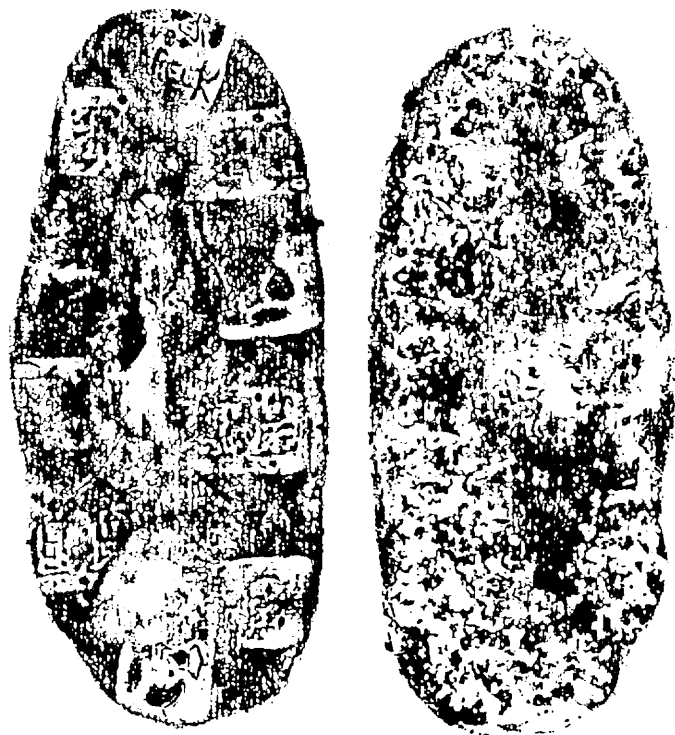
第1表 近世の一括出土金銀貨種別一覧

種類	大判	五両判	小判	二分金	一分金	二朱金	一朱金	丁銀	豆板銀	一分銀	二朱銀	一朱銀	五匁銀
天正	●												
慶長	△		●		●			●	●				
元禄	△		●		●	●		△	○				
宝永			○		●			△	△				
正徳			●		●			●	●				
享保	●		●		●			●	●				
元文			●		●			●	●				
明和			●		●			●	●				
文政			●	●	●		△	△	○		○		△
天保	△	●	●		●	●		△	△	●			
嘉永												●	
安政			△		△			●	△	●	○		
萬延	△		△		●	●							
明治			○		○					△		○	

●一括出土例中に認められる貨幣種 ○その他の事例で少量ながら出土例のある貨幣種 △未だ出土例の無い貨幣種



No.87-e 初期慶長切銀
(大坂城跡)

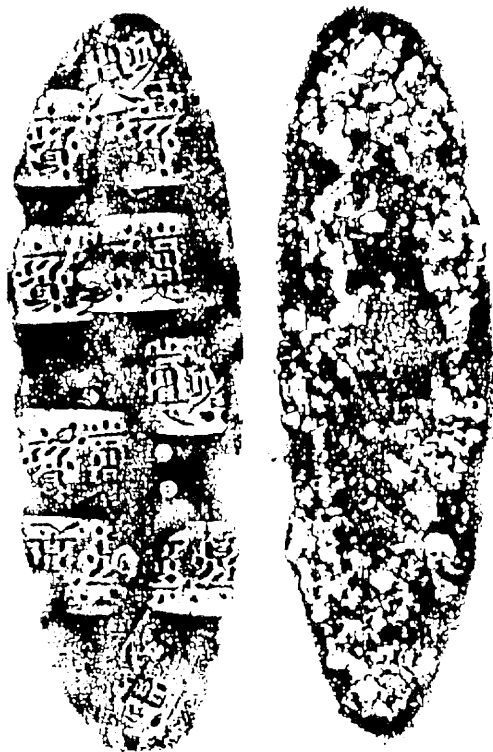


No.87-b 初期慶長丁銀 (大坂城跡)



No.87-i 千本出水
慶長豆板銀

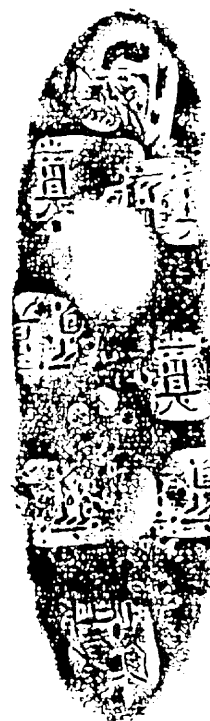
No.87-l 千本出水
慶長豆板銀



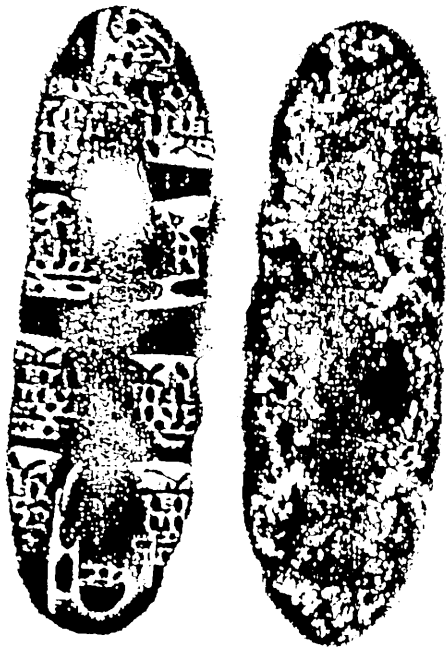
No.87-f 慶長丁銀 10面打 (千本出水)



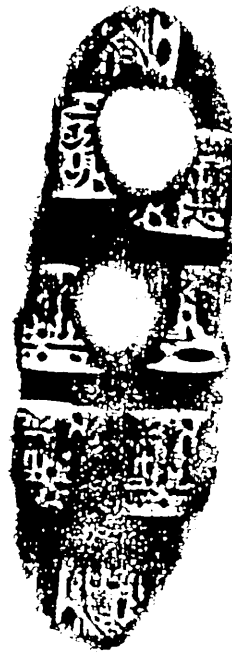
No.87-g 慶長丁銀 9面打
(千本出水)



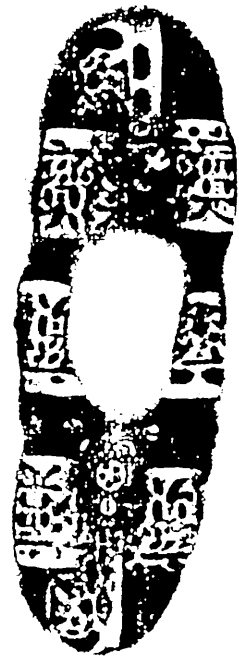
No.87-h 慶長丁銀 8面打
(千本出水)



No.93-a 正徳・享保丁銀(天座)10面打



No.93-b 正徳・享保丁銀(天座)



No.93-c 正徳・享保丁銀(天座)



No.94-a 元文丁銀(富木出土)



No.102-c 大井城跡
明和南鐐二朱銀



No.105 開陽丸
文政南鐐一朱銀



No.106 笹ノ窟
嘉永一朱銀



No.107 開陽丸
貨幣司一朱銀

